

## 【軽米町】

### 1人1台端末の利活用に係る計画

#### 1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

軽米町では、「軽米町学校教育目標」の中で「自ら学び、考え、行動する、知性と想像力豊かな人」の育成を目標の1つとしています。

目標の実現に向けては、「令和の日本型学校教育の目指すべき姿」や軽米町教育振興計画で挙げられるICTを活用した「個別最適な学び」及び「協同的な学び」の一体的な充実を進める必要があります。

町では、これまでも少人数指導等により理解や習熟度に応じた指導や補完的な学習及び発展的な学習など一人一人に応じた指導に配慮し、並行して他者と協同しながら進める学習を推進してきました。

今後は、これまでの取組に加え学習支援ソフトを効果的に活用し、一人一人に合った個別最適な学びの実現や自分の考えを表現・発表し、発表の中で多様な他者の考えに触れることでより深い学びへの意欲を醸成し、児童生徒が自ら学ぶ姿勢を育む環境整備に取り組めます。

#### 2. GIGA第1期（令和3～5年度まで）の総括

GIGA第1期については、GIGAスクール構想における導入段階として、令和2年度に町内全小中学校の校内通信環境及び1人1台端末を整備し、令和3年度から利用を開始し、端末の整備以降も電子黒板や学習支援ソフトの導入等の環境整備を進め、効果的な利活用に向けた先進地視察や事例の情報提供を行いました。

児童生徒に対しては、端末の活用に当たって必要な技能を、学年ごとに設定し進級や進学時の技能格差が大きく出ることを抑えるため「軽米町スキルアップ・ステップ」を策定し取り組むことが出来ました。

また、環境整備に当たって教職員の負担が増大することが想定されたことからICT支援員を配置し、機器接続や授業の補助を行い負担の軽減を図りました。

一方で、授業でのICT機器の活用方法の蓄積が十分でないことから授業間で活用の差の発生、活用が進むにつれネットワーク接続が不安定になることがあり学校によっては利用時間帯を分けるなどの工夫により対応する必要があったことなど課題が残りました。

#### 3. 1人1台端末の利活用方策

端末更新に当たっては、計画的に実施し児童生徒が端末を利活用できる環境を維持しつつ、以下の目標に取り組めます。

##### （1）1人1台端末の積極的活用

端末の積極的な活用に当たっては、児童生徒の学習意欲を向上させ自ら積極的に学ぶ姿勢を育む必要があります。

そのために、教職員研修を充実させ I C Tを活用した「わかりやすい授業」の展開やデジタル教科書やデジタルドリルを活用して一人一人のペースに合わせた学習を推進することで学習に対する不安を軽減させよう取り組みます。

また、端末の積極的活用について、十分な活用に耐える通信環境の見直しが必要であり、G I G A第1期の課題として挙げられた通信環境の安定した接続確保のため、課題のある学校についてネットワークアセスメントを実施し、課題を明確にして必要な対策を講じます。

## (2) 個別最適・協働的な学びの充実

児童生徒一人一人の学習定着度に応じた学習を進められるよう、学習支援ソフトを活用して学習履歴を蓄積し、教職員や児童生徒自身が視覚的に学習の状況を理解できるようにし指導支援につなげます。

また、授業の中で自分の考えを表現し他者の考えに触れることで、多様な考えを尊重し、より考えを深められるよう、アプリを通して自分の考えをまとめ、タブレット端末や電子黒板により発表する授業が進めやすくなるような授業環境の充実を図ります。

## (3) 学びの保障

不登校児童生徒、別室登校児童生徒、日本語指導が必要な児童生徒及び障がいのある児童生徒等に対し、1人1台端末の活用により学びの機会や質が損なわれないよう別室等への通信環境の整備、外国人児童に対して翻訳アプリ等日本語指導と併せ必要な教育が行き届くよう多様なニーズに対応できるよう支援に努めます。

# 4. 今後の計画

G I G A第1期の設備の整備を経て、I C Tの利活用に向けた支援を拡充させていく必要があり、児童生徒のみではなく教職員に対しても多様な対応が求められる学校教育の中で、過大な負担が生じないよう支援に努めていく。

また、安定した教育環境を提供できるようこれまでの課題を解決し、1人1台端末を含めて必要な設備の更新を確実に実施します。